

12114 言語学入門 Introduction to Linguistics		1 年次～ 前期 2 単位	
担当者	高橋 教雄	履修可能学科	E
		関連資格	教職(E)
サブタイトル	言語研究の歴史の変遷を踏まえ、言語とは何かを考える。		
授業内容 ・ ねらい	<p><虹は何色か?>、<なぜ「英語」と呼ぶのか?>、<なぜ Japan と呼ぶのか?>、<September は何月?> のような身近な事物に関して問い直すことを通して、人間にとって言語とはどのような特徴を持ち、どのような意義をもっているものであるのかを考察します。また、日本語、英語および外国語科目として履修する言語からの具体例を取り上げて、特に20世紀以降の言語学に見られる諸分野について、基本事項を学び、履修者の英語学習に資することを目的とします。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文字の発達と分類：表意文字、表音文字；漢字、仮名；alphabet 2. ヨーロッパの文法研究（1）：ギリシャ・ローマ 3. ヨーロッパの文法研究（2）：ローマ以降 4. 歴史言語学、比較言語学：語族 5. 言語の分類：屈折言語、膠着語、孤立語 6. グリムの法則と英語 7. アメリカ構造主義言語学の特徴 	<ol style="list-style-type: none"> 8. 生成文法 9. 音声学 10. 音素論、音韻論 11. 形態論、語彙論 12. 統語論 13. 意味論 14. 意味変化、外来語・借用語 15. まとめ 	
教科書 参考書	<p>教) 特定の教科書は使用しませんが、プリント教材を多数配布します。 参) 授業中に、基本的な図書を随時紹介します。</p>		
評価方法	授業中の発言・発表（授業参加の積極性）、指示された作業の実施状況、および期末試験 and/or レポートにより総合的に評価します。		
事前準備学習 履修条件等	一方的な講義ではなく、履修者が積極的に考え、授業に関わることが期待されます。言語や人間を理解しようとする積極的な姿勢が重要になります。		